

## 令和7年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	観点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	○他者と協働し、生徒が「わかった・できた・つながった」を実感できる授業のあり方及びその評価方法について検討・共有する。	○他者の考えを知り、自分の思考を深めるとともに、課題の解決方法について考えることができる力を育む。	○ I C Tの効果的な活用やグループワーク等の活動を取り入れた授業について共有・実践する。	○生徒による授業評価における「授業中に得た知識をもとに、自分の考え方や解決方法について考えることができている」の回答が、すべての教科で80%以上「あてはまる」になったか。					
2	生徒指導・支援	①生徒に「かかわる・寄り添う・見守る」教育支援体制を推進するとともに、生徒が自らの課題に気づき、その課題を解決しようとする姿勢を育てる。  ②生徒の規範意識を定着させる指導の方針を検討し、生徒が自身を律して社会で生きていく力を育む。  ③学校行事や部活動等をとおして、他者と協働して豊かな人間関係を構築する力を育む。	①相談から支援につなげるプロセスを明確化し、教育相談体制のさらなる充実を図る。  ②自身の行動を客観視し、他人を思いやることのできる規範意識を育てる。また日常的なマナー指導の要である服装・身だしなみ指導の計画的実施を図る。  ③部活動の加入者を増やすとともに、学校行事等において、生徒が主体的に活動できる場を設定する。	①過去の相談・支援事例を整理・共有することにより、職員の相談・支援スキルを高める。  ②年次集会等の計画的開催を通じて、適時的な規範意識醸成に努める。服装・身だしなみチェックの記録を明確化し、継続的指導に生かせたか。「指導強化週間」を有効に実施できたか。  ③学校行事や委員会等において、生徒会役員を中心には生徒自らが企画運営をする機会を設定する。 ・部活動が学校行事で活躍できる機会を増やす。	①教職員研修会等で、事例共有ができたか。 あらたな相談・支援事例に活用できたか。  ②年次集会等を計画的・適時に開催できたか。 服装・身だしなみチェックの記録を明確化し、継続的指導に生かせたか。 「指導強化週間」を有効に実施できたか。  ③生徒が企画運営する機会を多く設定することができたか。 ・部活動加入率が30%以上になったか。					
3	進路指導・支援	○生徒の社会生活実践力を育成し、社会とつながり、主体的に進路設計ができる力を身につけさせる。	①自己および他者への理解を深めることをとおして、生徒が自己的役割や責任を認識し、社会とつながる力を身につけるための支援を行う。  ②生徒が主体的に将来を考え、個々の関心や能力、適性に応じた進路を実現するための支援を行う。	①「総合的な探究の時間」を中心とした学習活動や外部機関等を活用した様々な体験活動をとおして、社会とのつながりや働くことの意味等に対する理解を深めさせる。  ②生徒一人ひとりの希望進路を実現させるために個別面談や進路ガイダンス等をとおして適切な情報を提供する。	①「総合的な探究の時間」を中心としたキャリア形成に係るプログラムを、各年次で計画的に実施することができたか。  ②生徒のニーズに合った情報提供を、適切な時期に行うことができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価（月 日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	○地域や外部の諸機関等との連携体制を整備・拡充し、地域と協働した教育活動・学校運営を行う。	○地域との交流や外部機関の活用を通じて、生徒の自己肯定感を高め社会つながろうとする意欲を高める教育活動の充実を図る。	○特別活動・授業・生徒会活動等において地域の方との交流の機会を増やす。 ・生徒のニーズに応じて外部機関について情報提供を行い、生徒が有効活用できるよう促す。	○生徒が地域のイベントに参加したり、地域の方と交流したりする場面を増やすことができたか。 ・生徒が外部機関とつながる機会を増やすことができたか。					
5	学校管理 学校運営	①安全、安心な教育環境を維持・推進するとともに、本校の教育活動に適した学習環境の整備を進め る。  ②保護者や地域と連携した防災教育活動を進め、生徒の防災に対する意識を涵養する。  ③事故不祥事防止を推進し、学校に対する信頼を深める。	①生徒の安全を確保し、よりよい学習環境を整える。  ②生徒及び職員の防災意識をさらに高め、保護者や地域との連携を図る。  ③事故・不祥事を生まない環境づくりに努める。	①体育館天井工事を安全に進め、安全な生徒の活動場所を確保する。  ・施設の経年劣化を意識した点検を行うとともに日々の報告をもとに改修箇所等を早期に把握する。  ②保護者や地域の方も参加できる防災研修・訓練を企画・実施する。  ③防止会議等の実施による事故・不祥事防止の意識醸成に努める。  ・相談しやすい環境づくりに努める。	①生徒の活動場所を確保し、安全に体育館天井改修工事を終えることができたか。 ・熱中症等に配慮した学習環境を確保できたか。  ・破損箇所の素早い改修を行ったか。  ②保護者や地域の方も参加できる防災研修・訓練を行ったか。  ③不祥事防止会議や日々の活動での機会をとらえた注意喚起ができたか。 ・相談、指導における組織的な対応ができたか。					